

皆が笑顔になる、「フェアトレード」便り No.35 田中惣一商店 2025.10.1

「フェアトレード」とは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「取引のしくみ」の事です。
(一方的な寄付ではない持続可能な取り組みです) ***「エシカル消費」人・社会・環境に配慮した消費活動。「フェアトレード」商品を買うこともそのひとつ。

<令和7年(2025)9月5日館山市議会一般質問、傍聴してきました。>

鈴木ひとみ議員さんからの質問・・・「フェアトレードタウンについて」

① フェアトレードを市民に浸透させるため、市の取り組みをお願いいたします。

<答え>・・・令和6年8月号の広報にSDGs、フェアトレードの取り組みをご紹介しました。・・・フェアトレードの出前講座を計画しています。

② フェアトレードタウン宣言に向けて、市のお考えを伺います。

2026年には千葉市がタウンに向けて、精力的に動いています。館山さんも一緒にとお声かけ頂いております。

<答え>・・・普及に努めます。認定について、将来は共感が得られれば、認定を考えるとのお答えでした。

<<感想>>SDGsの観点からもフェアトレードは17の項目に合致しています。この取り組みは、誰一人取り残さない、「思いやりのある街」として、世界共通語として、世界を視野に、市民参画できるものです。私たち市民もこの取り組みに、丁寧にかかわっています。何年か前には共感して下さる方が約400人強、署名して下さいました。もちろん、今の方がたくさんの方々に共感していただいています。実現できますよう、協力、一緒に歩んで
<9月9日>名古屋フェアトレードフォーラムに館山からも鈴木ひとみ議員が出席しました。全国の熊本、名古屋、逗子、浜松、札幌、いなべ、鎌倉、フェアトレード関係者の方々と交流しました。各タウンの関係者さんたちのタウンとしての活動報告や講座を聞いたり、対面でお会いして、益々、フェアトレード、SDGs、エシカル消費など、重要性を感じたとひとみさんからご報告、ありました。

<毎月11日「イオン、幸せの黄色いレシートキャンペーン」です。

<9月27日(土)>午後2時~8時「スパークディー」ビアガーデンフェアトレードとして、出店。お客様、音楽あり、まったりとビールを飲んで、ゆっくりされていました。フェアトレードバナナやフェアトレードごま、カレーカシューナッツ、人気でした。

**私、商工会議所の女性会に所属しているのですが、24日に木更津さんの事業で、「木更津のコストコ」のバックヤードの研修に行ってきました。ケン社長、自ら、本社をご案内下さいました。日本での店の歴史、展開、環境のこと、従業員のことすべて、素晴らしかったです。また「宝家」さんでの芸者さんの芸も見、地元の伝統を継承する努力に感服です。館山をくフェアトレードタウンに!>フェアトレードを通じて、人や地球環境、社会、地域に根差した みんなが笑顔でいられる町づくりで 自然豊かな館山の魅力をさらに高めましょう